

BLITZ

TV-NAVI JUMPER DV-S

NSBT-320

コードNo.: 10639

取扱説明書No.: 10639-001

取扱説明書

この度は、BLITZ 『TV JUMPER DV-S』ならびに『TV-NAVI JUMPER DV-S』をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
ご使用になる前に必ず本取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用してください。

使用方法や諸注意に関しては本体説明書を良くお読みになった上で、正しい使用方法でご使用願います。

製品の保証については同梱の保証書をご参照ください。

	この表示を無視して誤ったご使用をすると、身体や財産に重大な被害が発生する可能性が想定される内容である事を示しています。
	この表示を無視して誤ったご使用をすると、法律に違反する可能性が想定される内容である事を示しています。
	この表示を無視して誤った取り付けをすると、人が損害を負う、もしくは車及び製品の破損・故障といった物的損害の発生が想定される内容である事を示しています。
	本製品を使用する上で知っておいていただきたい事を示しています。

動作上の注意事項(必ずお読み下さい)

	目的地設定後、ルートガイダンスをご利用の場合は、必ずノーマルモードにしてからご利用ください。
	お取り付けする機種によっては、車両のメンテナンス機能が正常に働かなくなる(表示に誤差が生じる)場合がありますが故障ではありません。
	切り替えスイッチをオンにしたときから、ナビゲーションの自車位置が狂うことがあります、切り替えスイッチをオフにし、しばらくすると正常動作に戻ります。

製品についてのご相談及びお問い合わせについて

製品に関するお問い合わせ、連絡は電話にて下記宛にお願い致します。

- ☐ 連絡先 株式会社ブリッツサポートセンター
☐ 住所 東京都西東京市新町4-7-6
☐ TEL 0422-60-2277

<http://www.blitz.co.jp/>

ご使用上の注意事項(必ずお読み下さい)

	本製品は運転者以外の同乗者が、走行中にテレビを見たりナビゲーションの目的地設定をするために開発された製品です。 運転者は運転中は絶対にテレビを見ないでください。 また、ナビゲーションの操作及び目的地設定等も行わないでください。
	運転者は走行中にモニター画面に表示された画像を注視すると安全運転義務違反となりますので、絶対に注視しないでください。また、同乗者がいない場合に走行中テレビを映していると安全運転義務違反となりますので、走行中は絶対にテレビを映さないでください。
	テレビを見ながら走行中にナビゲーションの地図画面へ切り替えると、車両の現在位置と地図上の自車位置にずれが生じる場合があります。
	走行中は電波の受信状況が悪くなる為、停車時に比べてテレビの映りが悪くなります。
	走行時にTVを表示させない場合は、車両側の操作スイッチにより電源のOFFか、ナビ画面に切り替えてください。もしくは、本製品を取り外してください。
	本製品を取り付けても走行中に目的地設定は出来ません。(一部商品除く)
	本製品を取り付けても走行中TVを見ることが出来る以外の走行中の規制内容はノーマル時と一緒にです。
	本製品を使用して発生した事故・違法行為・車両の故障または損害等の責任は一切負いかねますのでご了承願います。

取り付け上の注意事項(必ずお読み下さい)

	取り付けの際には必ずエンジンを停止させ、バッテリーのマイナス端子を外し5分以上経過してから作業を行って下さい。また、オーディオや時計機能などのメモリー内容が消えてしまうので、あらかじめメモを取るなどして作業完了後再度入力してください。
	車両内装のパネル及び部品等を外す場合は破損、汚損及びネジ等の紛失に十分注意して作業を行って下さい。
	コネクタを外す際は、コネクタのロックピンをしっかりと押さえて、まっすぐに引き抜いて下さい。無理に引っ張るとテレビチューナーユニット、オーディオユニット、ナビコントロールユニット内の基盤が破損したり断線する恐れがあります。
	ハーネスの接続は車種別適合表をご確認の上お買い求めください。ハーネスの接続はコネクタがカチッと音がするまでしっかりと差し込み接続不良を起こさないよう注意してください。
	本製品は車両側の適切な場所へテープ・タイラップ等で固定してください。固定しないと接触不良を起こしたり、配線の断線の原因になる恐れがあります。
	取り付けの際には、シートレール、ペダル類、ドアなど可動部にハーネス類や本体を挟み込んだり、また挟まれる可能性がある場所には絶対に設置しないで下さい。製品の破損や断線による事故、火災、感電等の恐れがあり危険です。
	取り付け終了後に走行テストを行う際は、必ず助手席に人を乗せ、助手席の方がテストを行って下さい。
	アース線の接続を必要とする場合、アースが不十分だと本製品は正常に動作いたしません。確実にアースを取るようにしてください。
	あらかじめ取り付けを行う車両の内装脱着要領の資料を入手し、慎重に行ってください。

スイッチ切り替えについて(必ずお読み下さい)

	セレクトスイッチが消灯している(OFF状態)ではノーマルと同じ状態ですのでテレビも見れませんが、ナビの目的地設定もできません。また、エンジンを切ったあとに再度エンジンを始動した場合は必ずノーマルモード(セレクトスイッチ消灯)になります。
	セレクトスイッチを本体へ接続しなければ、走行中にテレビを映したりナビの目的地設定をする事はできません。
	テレビを見ながら走行中に地図画面へ切り替えると、車両の現在位置と地図上の自車位置にずれが生じている場合があります。その場合はセレクトスイッチをOFF状態にして暫く走行して下さい。GPSを感知して自動的に補正され正規の自車位置へ復帰します。 停車中はほとんど補正が効きませんので必ず走行して下さい。
	目的地設定モードでは車速信号がカットされるので画面上では自車位置が固定し、走行中の正規の現在地に対してズレが生じます。ノーマルモードへ切り替えて走行すれば、正規の現在地へ自動修正します。
	目的地設定モードで設定が完了後は速やかにテレビモードかノーマルモードへ切り替えて下さい。但し、手動で切り替えが行われない場合でも約7分後には自動でノーマルモードへ復帰します。

●ナビ・ブレーキアシストでの注意

適合車両には標準装備でナビ協調制御(ナビ・ブレーキアシストシステム)が装着されております。
目的地設定モード(NAVIモード)使用時、メーター部分とナビ画面に右写真のような「ナビ・ブレーキアシスト システムチェック」と警告が表示される場合があります。

高速道路などで目的地設定モードを使用し、自車位置が大幅にずれる(約4km)と上記警告が表示されることが確認されております。
その際はナビ・ブレーキアシスト機能をご使用できませんので予めご了承ください。

スイッチをOFFし、しばらくすると正確な自車位置を認識し警告表示は消え、ナビ・ブレーキアシスト機能が正常に動作いたします。

ハーネス別注意事項(必ずお読み下さい)

●バッテリーマイナス端子取り外し時の注意

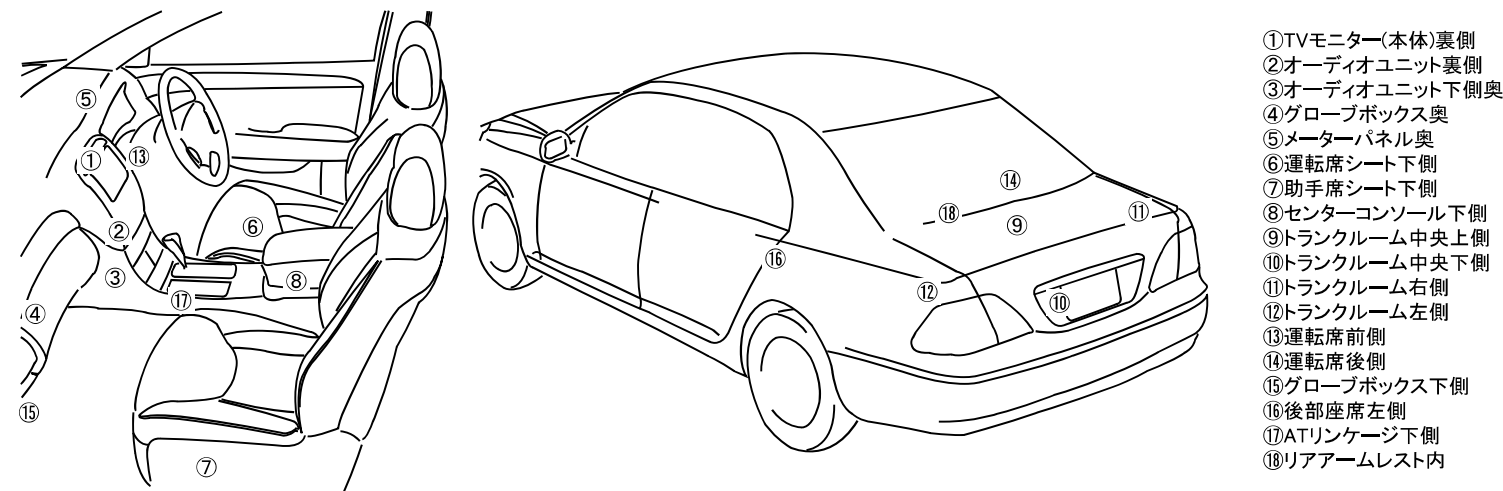
本製品の取り付け、取り外しの前にセキュリティの契約、設定状況を確認していただき、セキュリティ解除の手順を行ってください。
解除を行わなかった場合には、誤動作や誤通報が起こる可能性があります。
解除方法については車両取扱説明書または車両販売店にて確認してください。

●走行中のTV画面切り替えについて

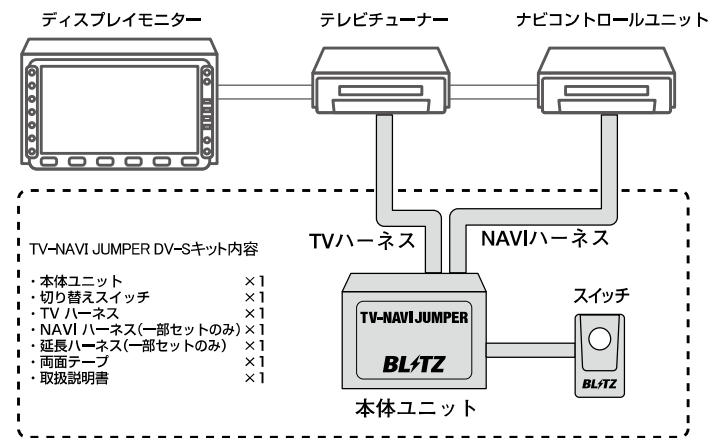
走行中に現在地表示からテレビ画面に切り替える際、「TV」ボタンを押しただけでは、テレビ表示にうまく切り替わらないことがあります。
そのときは「TV」ボタンを押した後、「オーディオ」ボタンを押し、画面をチャンネル切り替えの画面に切り替えた後に画面右側のテレビ小窓表示画面をタッチして全画面表示にしてください。
また、ステアリングスイッチの「MODE」ボタンでの切り替えであれば、テレビ画面の全画面表示に切り替えることが可能です。
※画面上の「全画面」ボタンはグレースアウトしておりタッチできません。
※全画面表示にしないと自動的に現在地表示に戻ります。



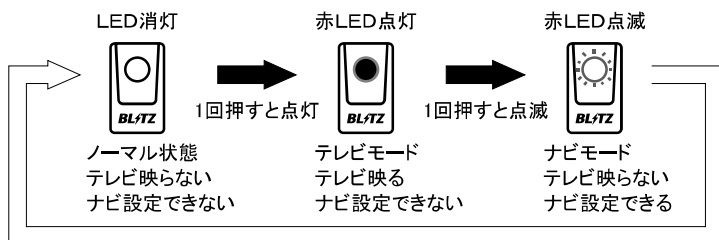
ナビゲーションコンピュータ&AVコンピュータ配置図(ハーネス取り付け位置)



TV-NAVI JUMPER DV-S システム構成図



TV-NAVI JUMPER DV-S スイッチ操作手順



アルファード(ハイブリッド)・ヴェルファイア(ハイブリッド)(11/11ー)

- ①バッテリーのマイナス端子を外します。
- ②シフトレバーをNレンジにし、シフトノブを左へ回して外します。(図A)
- ③かん合(23ヶ所)、コネクター類を外し、インストルメントクラスターフィニッシュパネルSUB ASSY CTRを外します。(図B、図C)
- ④かん合(4ヶ所)、コネクター類を外し、エアコンディショナーコントロールASSYを外します。(図C、図D)
- ⑤ボルト(左右各2本)を外し、ナビゲーションレシーバーASSYを手前に引き出します。(図E、図F)
- ⑥ナビゲーションレシーバーASSY背面のコネクターを抜き、ナビゲーションレシーバーASSYを取り外します。
- ⑦ナビゲーションレシーバーASSYに刺さっていた59ピンコネクターを確認してください。
- ⑧下記ハーネス取り付け方法をもとにハーネスを取り付けてください。
- ⑨ハーネスのU型アース端子をボディアースします。
- ⑩適当な場所に本製品本体を収納してください。
- ⑪配線が潰れていたり金属部分に接触していないかを確認してください。
- ⑫確認が終わったらバッテリーのマイナス端子を取り付けます。
- ⑬動作確認をして正常なことが確認できましたら、内張り等を元に戻して終了です。



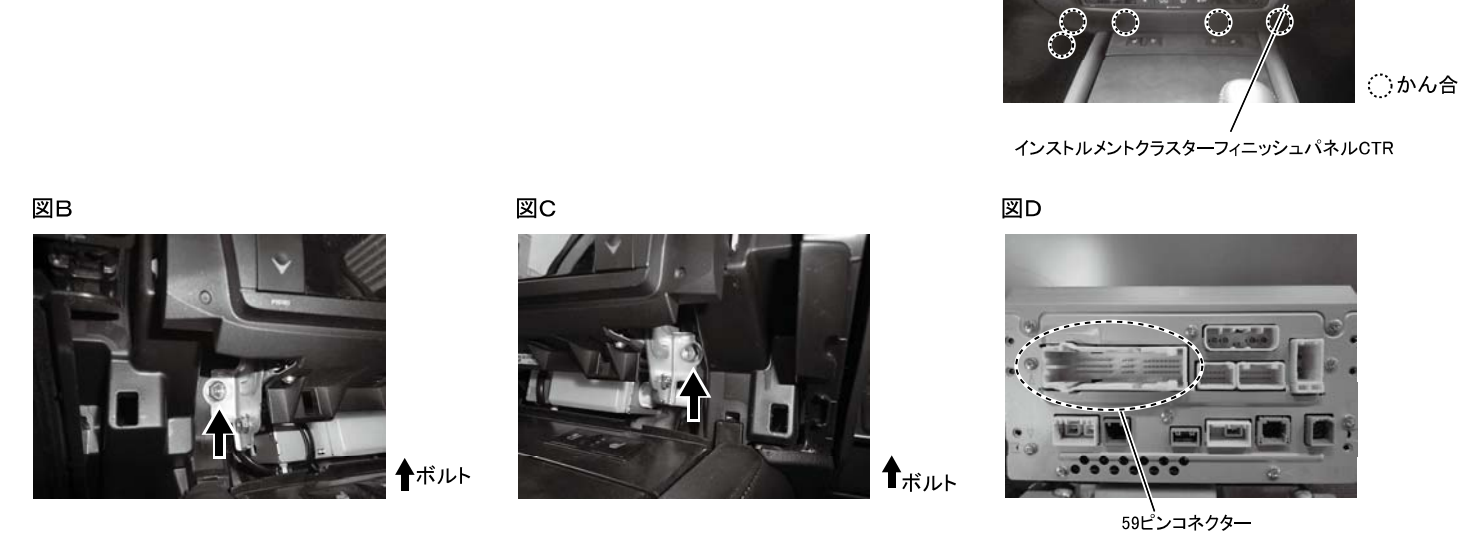
インストルメントクラスターフィニッシュパネルSUB ASSY CTR

エアコンディショナーコントロールASSY

ナビゲーションレシーバーASSY

GS250・GS350・GS450h(12/01ー GRL10/11/15,GWL10)

- ①バッテリーのマイナス端子を外します。
- ②かん合(9ヶ所)、コネクター類を外し、インストルメントクラスターフィニッシュパネルCTRを外します。(図A)
- ③ボルト(左右各1本)、かん合(2ヶ所)、ツメ(2ヶ所)を外し、マルチメディアモジュールレシーバーASSYを手前に引き出します。(図B、図C)
- ④マルチメディアモジュールレシーバーASSY背面のコネクターを抜き、マルチメディアモジュールレシーバーASSYを取り外します。
- ⑤マルチメディアモジュールレシーバーASSYに刺さっていた59ピンコネクターを確認してください。
- ⑥下記ハーネス取り付け方法をもとにハーネスを取り付けてください。
- ⑦ハーネスのU型アース端子をボディアースします。
- ⑧適当な場所に本製品本体を収納してください。
- ⑨配線が潰れていたり金属部分に接触していないかを確認してください。
- ⑩確認が終わったらバッテリーのマイナス端子を取り付けます。
- ⑪動作確認をして正常なことが確認できましたら、内張り等を元に戻して終了です。



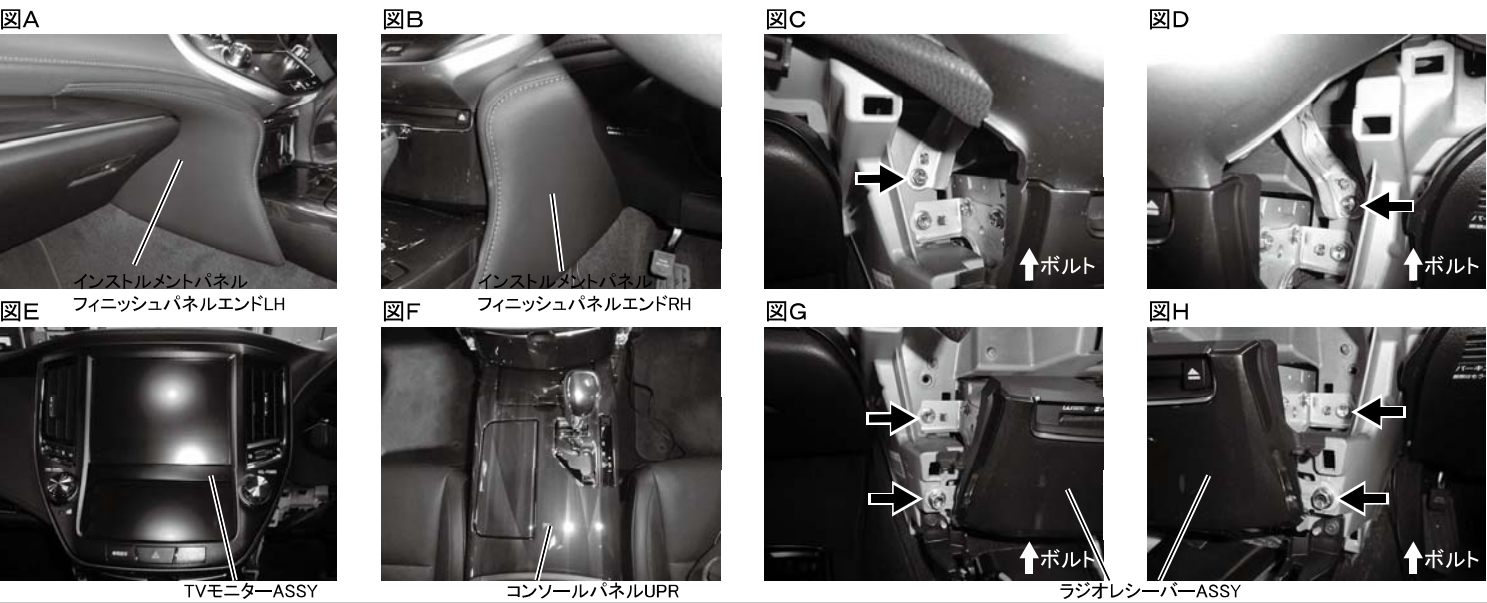
かん合

インストルメントクラスターフィニッシュパネルCTR

59ピンコネクター

クラウン・クラウンハイブリッド(12/12ー GRS210/211/214,AWS210)

- ①バッテリーのマイナス端子を外します。
- ②かん合(5ヶ所)を外し、インストルメントパネルフィニッシュパネルエンドLH(助手席側)を外します。(図A)
- ③かん合(5ヶ所)を外し、インストルメントパネルフィニッシュパネルエンドRH(運転席側)を外します。(図B)
- ④ボルト(左右各1本)、かん合(8ヶ所)、コネクター類を外し、TVモニターASSYを外します。(図C、図D、図E)
- ⑤シフトレバーをNレンジにし、シフトノブを左へ回して外し、かん合(5ヶ所)、コネクター類を外し、コンソールパネルUPRを外します。(図F)
- ⑥ボルト(左右各2本)を外し、ラジオレシーバーASSYを手前に引き出します。(図G、図H)
- ⑦ラジオレシーバーASSY背面のコネクターを抜き、ラジオレシーバーASSYを取り外します。
- ⑧ラジオレシーバーASSYに刺さっていた59ピンコネクターを確認してください。
- ⑨下記ハーネス取り付け方法をもとにハーネスを取り付けてください。
- ⑩ハーネスのU型アース端子をボディアースします。
- ⑪適当な場所に本製品本体を収納してください。
- ⑫配線が潰れていたり金属部分に接触していないかを確認してください。
- ⑬確認が終わったらバッテリーのマイナス端子を取り付けます。
- ⑭動作確認をして正常なことが確認できましたら、内張り等を元に戻して終了です。



インストルメントパネルフィニッシュパネルエンドLH

インストルメントパネルフィニッシュパネルエンドRH

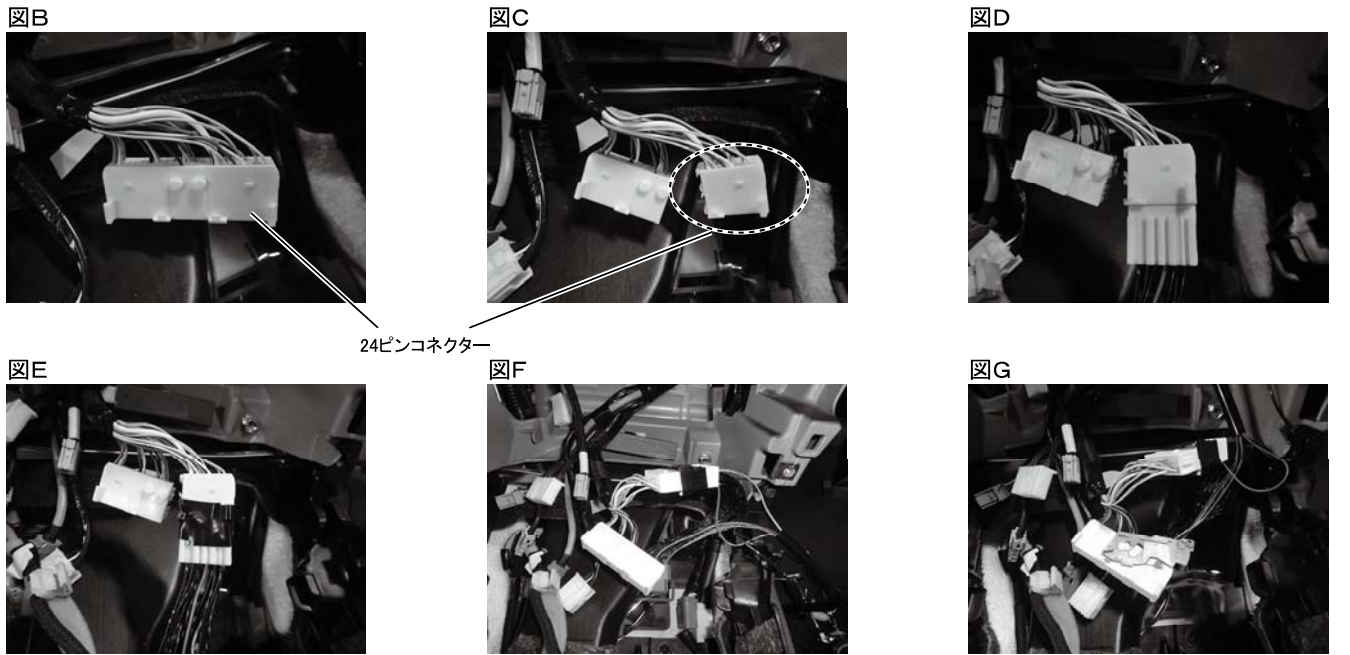
TVモニターASSY

コンソールパネルUPR

ラジオレシーバーASSY

ハーネス取り付け方法

- ①59ピンコネクターのロック部分(灰色部)を取り外してください。(図A、図B)
※ロック部分を破損しないように注意してください。
- ②24ピンコネクターを下にスライドさせて取り外します。(図C)
- ③24ピンコネクターに本製品ハーネスのコネクターを差し込み、ビニールテープで固定します。(図D、図E)
※ピンを曲げたりしないよう、きっちりピンを合わせて差し込んでください。
- ④②で取り外したコネクター部分に本製品の同形状コネクターを上スライドさせて取り付けます。(図F)
- ⑤①で取り外したコネクターのロック部分を取り付けてください。(図G)



図A

コネクターロック部分

24ピンコネクター